



福屋

鈴木敦士さん

南伊豆町青市にお住いの鈴木敦士さん(72歳)は同町岩殿にある岩殿寺窯で陶芸の指導をされています。山形県出身の鈴木さんは52歳まで埼玉県で会社を経営していましたが、52歳の時に趣味の釣りを満喫すべく南伊豆町に移住して来ました。



IMG 4245



images

日本陶芸展入選の作品

クラブ陶芸展出展作品

しかし風の強い日が多い伊豆の冬は船を出せない日が多く、徒然を慰めるべく、陶芸を習い始めました。メキメキ腕を上げた鈴木さんは11年目に陶芸の最高峰日本陶芸展で入選を果たしました。



4c69fc4f



IMG 4251

会員を指導する鈴木さん

ロク口を回す会員さん

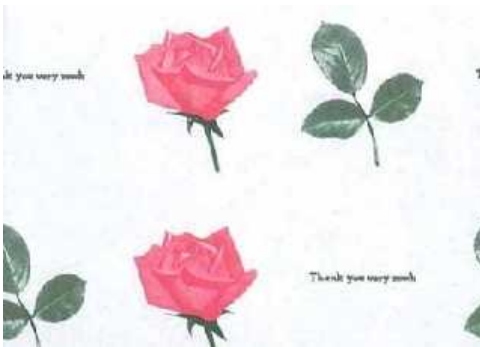
南伊豆陶芸クラブ代表の鈴木さんは、昨年より岩殿寺窯を借り上げ、ギャラリーをオープン、会員(現在17名)の指導を行う他、主として観光客向けの体験教室を実施しています。陶芸は一度窯に入れたら、もう手を加えられない難しさがあるだけにイメージを具現化させることの楽しさがあり、一窯毎に課題が浮かび上がるのが魅力とおっしゃいます。



[002701786-1.im](#)

[guide000000171152\\_1](#)

伊豆遍路66番で976年創建され北条氏の庇護を受けた真言宗の岩殿寺ですが、豊臣秀吉の小田原城攻めの際に戦乱に巻き込まれ炎上、その後衰退してしまいました。岩殿寺窯はデパート高島屋の包装紙をデザインした洋画家として知られる高岡徳太郎氏が真言宗の依頼を受け、1970年に若手陶芸家を育成することを目的に開設したそうです。



[IMG 4254](#)

[20121103095451](#)

高島屋の包装紙

窯

陶器は先ず低火度で素焼きを行い、軽く焼き固めたものに色付けの釉薬を塗り本焼きするそうです。窯は電気窯を使います。

「今でも一番は釣り」とおっしゃる鈴木さんですが、陶芸の他、南伊豆町文化協会会長も務められるなどお忙しい毎日をご過ごしておられる様子です。一時は40名を超える会員が居た陶芸クラブと多くの陶芸家を輩出した由緒ある岩殿寺窯を維持していけるように今後も頑張りたいとのことでした。



[IMG 4250](#)

[IMG 4249](#)

ギャラリー

生活の糧とすることが目的ではないけれど、作品が売れると、また意欲が高まるのでギャラリーは大切なこと。

岩殿寺窯をいつでも利用できるクラブ会員になる為の入会金は ¥10,000、会費は ¥2,000/月。

体験教室は

作陶コース: 手びねり ¥ 3,000、電動ロクロ ¥ 10,000  
絵付けコース: ¥ 1,500  
いずれも作品は本焼き後受取人払いで郵送してくれます。  
詳しくは  
<http://ganndennje.web.fc2.com/>

生きがい特派員 賀茂地区担当 福居通彦